

事務事業評価調書

事務事業名	千里山駅周辺整備事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	都市計画道路等の公共施設利用者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	千里山団地等の建替えに合わせ、都市計画道路等の公共施設整備を行い、交通混雑の解消、生活利便性の向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	良好な市街地形成												
(7) 事業概要	千里山駅周辺整備事業は①踏切の安全性②駅前都市機能の不足③都市計画道路の未整備④千里山団地の老朽化という地域課題を解消するため、踏切を自動車通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備するとともに、駅周辺公共施設を整備するものです。駅東側においては、都市再生機構の直接施行制度により、都市計画道路千里山佐井寺線、千里山跨線橋線、駅前交通広場等の整備を、千里山団地の建替えと総合的、一体的に行い、駅西側では駅アクセス道路の歩道整備等を行います。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	13	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		715,369	428,968	473,160	217,349	284,195							
	人件費	職員数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	3.00						
		総額(B)	千円	41,500	39,735	41,760	41,760	24,510						
	総事業費(A+B)		756,869	468,703	514,920	259,109	308,705							
	特定財源(C)		7,177	27,320	25,570	10,323	55,607							
	(内訳)	国	6,400	27,320	24,100	10,323	10,440							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	777	0	1,470	0	45,167							
	市負担(D)		749,692	441,383	489,350	248,786	253,098							
	(内訳)	地方債	377,600	283,400	239,900	31,500	77,200							
		その他	330,000	118,190	200,000	0	150,000							
一般財源		42,092	39,793	49,450	217,286	25,898								
財源計(C+D)		756,869	468,703	514,920	259,109	308,705								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(独)都市再生機構										
			②	阪急電鉄株										
			③											
	主な委託内容		駅東区画道路の整備											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	都市再生機構											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 都市計画事業等執行率	目標値	(単位:%)	86.70	97.03	100.00
			実績値	(単位:%)	84.60	88.66	
			達成度(%)		97.6	91.4	
	目標値の積算方法	都市再生機構との負担金協定により算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,540.22	2,922.50
				一般財源(単位:千円)		2,284.40	2,450.78
	②	指標内容 道路整備完了延長	目標値	(単位:%)	66.80	77.80	85.90
実績値			(単位:%)	65.90	68.90		
達成度(%)			98.7	88.6			
目標値の積算方法		道路整備予定延長を算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,112.34	3,760.65
				一般財源(単位:千円)		2,932.63	3,153.64
(2) 成果指標		①	指標内容 歩道の満足度	目標値	(単位:%)	45.00	45.00
	実績値			(単位:%)	31.70	31.70	
	達成度(%)			70.4	70.4		
	目標値の積算方法	道路の整備状況に関する市民意識調査(千里山佐井寺地域)から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14,785.58	8,173.79
				一般財源(単位:千円)		6,096.53	6,854.45
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里山駅周辺整備事業では、平成28年度の完成を目指し、駅前交通広場の工事を進めています。また、踏切の車両通行禁止化に伴う踏切縮小工事、跨線橋西詰交差点接続道路の拡幅工事が完了し、跨線橋東端交差点に信号を設置する等、地域にふさわしい安全で魅力的なまちづくりに努めました。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里山駅周辺整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00681				

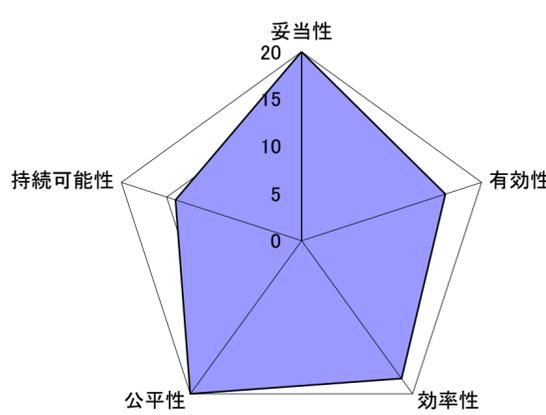
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00681
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅周辺の交通環境等の地域課題の解消を目標に事業を進捗中であり、平成27年度には跨線橋西詰交差点の改良工事、駅前踏切の縮小工事等が完了するとともに、駅西側を中心とした第2期都市再生整備計画を策定した。現在駅東側において平成28年度の完了を目指し駅前交通広場を整備中であり、駅西側においては策定した第2期都市再生整備計画に基づき平成28年度から平成30年度までの3か年において、駅アクセス道路等の整備を進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	近隣センター活性化再生支援事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	千里ニュータウン再生指針、千里ニュータウン近隣センターのあり方について(案)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	千里ニュータウンの近隣センター(藤白台及び高野台サブは除く。)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	衰退している近隣センターが、地域ニーズに沿った商業施設やコミュニティ施設等を集積した総合的な生活支援拠点となるように、活性化・再生に向けた誘導を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	近隣センターの活性化、再生によるにぎわいの創出。												
(7) 事業概要	近隣センターの活性化・再生を目指して、地権者等の合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促すとともに事業計画の策定や事業化検討パートナー選定等を支援する。またオープンスペース等の移管に向けて庁内調整を行い、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	1	大事業	8	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		110	45	110	0	110							
	人件費	職員数	人	0.50	0.70	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	5,563	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,260	5,608	4,286	4,176	4,195							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,260	5,608	4,286	4,176	4,195							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,260	5,608	4,286	4,176	4,195								
財源計(C+D)		4,260	5,608	4,286	4,176	4,195								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	近隣センターアドバイザー派遣要領に基づき、アドバイザーの派遣を行う。												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地権者等の合意形成に向けた意識向上や協議会等の立上げを支援する。	目標値	(単位:回)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:回)	21.00	8.00	
		達成度(%)		210.0	80.0		
	目標値の積算方法 会議等の回数(アドバイザー派遣含む)。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	191.38	522.00		
			一般財源(単位:千円)	191.38	522.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	近隣センターの活性化・再生に向けた事業の推進。			達成状況	懇話会等が開催され、合意形成に向けた意識向上が図られた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		竹見台と桃山台近隣センターについては、活性化・再生に向けた会議等が開催され、平成27年度は合同で世話役会や合同ニュースの第1回の発行が行われた。これらの活動を経て、近隣センターの活性化・再生に関する地権者等の意識向上や、事業化検討に向けた機運の醸成といった効果を生み出しており、引き続き活性化・再生に向けた誘導を行う。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	近隣センター活性化再生支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00697				

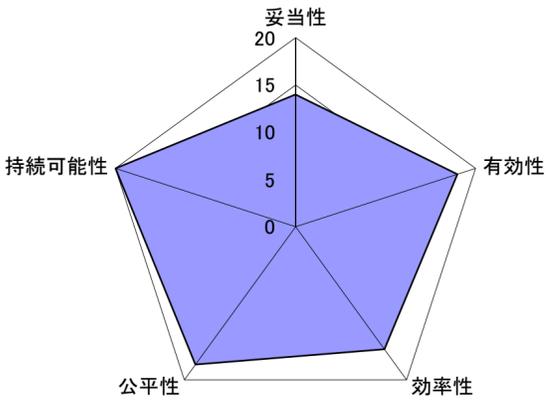
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00697
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近隣センターは、住区における身近な拠点として、住民などの暮らしを支えてきましたが、居住者のライフスタイルの多様化や社会状況の大きな変化などにより、近隣センターの商業環境は大きく変化し、店舗数の減少など商業の衰退が進んでいます。そういった中、行政が地権者等を支援することで、合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促すとともに、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点として活性化・再生が図られています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	桃山台～南千里駅間の沿道にぎわい活性化事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	千里ニュータウン再生計画、桃山台～南千里駅間沿道活性化構想(案)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	13							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	桃山台～南千里駅間の沿道											
	結果(どのような効果が得られるのか)	人の集えるにぎわいのある空間づくりを中心としたまちづくり												
(7) 事業概要	千里ニュータウンの桃山台～南千里の駅間の幹線道路沿いにおいて、まちの活性化やさらなる魅力の向上を目指し、沿道の近隣センター、府営住宅、タウン管理財団が所有する駐車場等について、沿道の活性化や魅力の向上が図られるよう誘導する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	4	大事業	99	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,100	3,078	0	0	0							
	人件費	職員数	人	1.30	1.50	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	10,790	11,921	0	0	0						
	総事業費(A+B)		14,890	14,999	0	0	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		14,890	14,999	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		14,890	14,999	0	0	0								
財源計(C+D)		14,890	14,999	0	0	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	桃山台～南千里駅間の沿道に、人の集えるにぎわいのある空間づくりを中心としたまちづくりを推進するために必要な検討調査を実施する。			目標	各施設の再整備や土地売却に伴い創出される活用用地が、にぎわいづくりに有効に設定されるよう関係部局と協議等を行う。	
	②	成果内容	桃山台～南千里駅間の沿道の活性化や魅力の向上を目指した土地利用を誘導する。			達成状況	関係事業主体の事業化への動向を調査し、適宜、協議調整を行う。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は桃山台～南千里駅間というポテンシャルの高い区域において、「桃山台～南千里駅間沿道活性化構想(案)」等に基づき、沿道の活性化や魅力の向上を目指した土地利用が図られるよう誘導等を行うものであり、主な事業が構想段階から実施段階を迎える段階において、個別支援等を充実する施策に移行することとし、本事業は廃止する。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	桃山台～南千里駅間の沿道にぎわい活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00698				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00698
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事務事業は、桃山台～南千里駅間というポテンシャルの高い区域に公的賃貸住宅の建替え事業や老朽化した近隣センターの再整備、及び売却予定の駅前駐車場等があり、事業主体により事業が順次進められています。本市は各事業の構想段階において、「桃山台～南千里駅間沿道活性化構想(案)」等に基づく規制・誘導を行い、沿道の活性化や魅力の向上を目指した土地利用が図られるよう取り組んでまいりました。主な事業が構想段階から実施段階を迎える今般、構想(案)等に基づく規制・誘導による行政の責務は一定目的を果たしたことから、今後は各事業に対する個別支援等を充実する施策に移行することとし本事務事業は廃止する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里南地区センター再整備事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	千里南地区センター再整備事業基本計画(案)、南千里駅周辺地区都市再生整備計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 13				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 千里南地区センター					
		目標(どういう状態にしたいのか)	千里南地区センターの再整備						
		結果(どのような効果が得られるのか)	地区センターとしての都市基盤等の再整備						
(7)	事業概要	千里南地区センターを魅力あふれる賑わいのあるまちとするため、交通広場を整備するほか、阪急南千里駅西側に公共公益施設、駅東側に公共広場等を整備するなど都市基盤の再整備を進める。							
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 8	項 5	目 12	大事業 1	中事業 1	小事業 1	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		543,527	539,181	158,679	24,304	174,692	
		人件費	職員数 人	0.70	0.90	2.00	2.00	1.50	
			総額(B) 千円	5,810	7,153	16,704	16,704	12,255	
		総事業費(A+B)		549,337	546,334	175,383	41,008	186,947	
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	48,000	11,520	44,800
			国		0	0	48,000	11,520	44,800
			府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0	
		(内訳)	市負担(D)		549,337	546,333	127,383	29,488	142,147
			地方債		0	391,000	64,800	6,900	60,400
その他			0	0	40,000	0	60,000		
一般財源			549,337	155,333	22,583	22,588	21,747		
財源計(C+D)		549,337	546,333	175,383	41,008	186,947			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(有)井伊測量設計事務所				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容		公共広場の詳細設計			
①									
②									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 全体事業費に対する執行业務費の割合	目標値	(単位:%)	70.41	75.43	81.04	
			実績値	(単位:%)	70.29	73.68		
			達成度(%)		99.8	97.7		
	目標値の積算方法	当該年度までの執行业務費累計/総事業費	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,749.95	556.57	
				一般財源(単位:千円)		7,749.95	306.57	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
				目標				
		地区東デッキの整備工事に着手。公共広場の設計業務完了。		達成状況	地区東デッキの整備工事は資材調達に時間を要し若干遅れているが、事業全体としては概ね年次計画通りに進んでいる。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里南地区センター再整備事業は、千里ニュータウンの南の玄関口である南千里駅を中心とした地区センターが、開発から50年以上経過し、駅前機能の経年化が進み、様々な市民ニーズへの対応が課題となっている。このため、「魅力あふれるにぎわいのあるまち」を目標に、平成21年度から平成25年度にかけて、駅西側の再整備である都市再生整備計画の第1期事業を完了した。引き続き、平成27年度から平成31年度の5か年で都市再生整備計画の第2期事業で駅東側の再整備を進めている。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里南地区センター再整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00699				

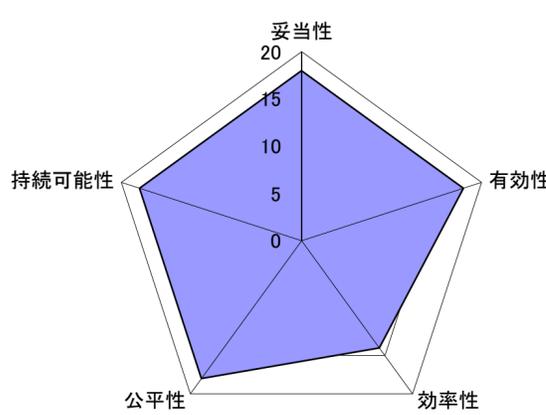
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00699
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里南地区センター再整備事業のうち、「南千里駅周辺地区都市再生整備計画」の1期事業として、交通広場整備については環境性能や景観に配慮した整備を実施し、平成23年度にほぼ完了した。公共公益施設については、平成24年6月末に完成、9月に供用開始をしている。平成27年度からの「南千里駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画」では歩行者デッキの整備や公共広場整備等を5か年にかけて実施する。平成27年度着手の地区東デッキは隣接する民間建設工事との工事ヤードの利用調整や資材の調達に時間を要したため完成は平成28年5月となるが、平成28年度以降には佐竹台デッキ及び公共広場等の整備を順次実施していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法、道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路南吹田駅前線の未整備区間約390m、駅前交通広場											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	大阪外環状鉄道(おおさか東線)の新駅の開業に合わせて平成30年度末までに整備を行う。 南吹田地域の道路交通の安全確保、おおさか東線新駅のアクセス道路、都市計画道路のネットワークの形成を図る。												
(7) 事業概要	南吹田地域における、おおさか東線新駅のアクセス道路や、南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化によって市街化の促進を図るとともに、都市計画道路ネットワークの形成を推進する。また、新駅の開業に合わせて駅前交通広場を整備する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	14	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,540,339	1,341,857	2,202,044	1,951,031	2,231,029							
	人件費	職員数	人	4.50	3.90	4.10	4.10	5.00						
		総額(B)	千円	37,350	30,994	34,244	34,244	40,850						
	総事業費(A+B)		1,577,689	1,372,851	2,236,288	1,985,275	2,271,879							
	特定財源(C)		510,000	528,717	676,790	822,541	582,255							
	(内訳)	国	500,000	510,620	676,790	822,541	580,800							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	10,000	18,097	0	0	1,455							
	市負担(D)		1,067,689	844,134	1,559,498	1,162,734	1,689,624							
	(内訳)	地方債	368,000	376,000	498,300	498,300	427,600							
		その他	660,000	436,113	1,020,000	0	1,220,000							
一般財源		39,689	32,021	41,198	664,434	42,024								
財源計(C+D)		1,577,689	1,372,851	2,236,288	1,985,275	2,271,879								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	西日本旅客鉄道株式会社										
			②											
			③											
	主な委託内容		JR東海道本線軌道下の道路新設工事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 西日本旅客鉄道株式会社と平成24年度に基本協定を締結しJR東海道本線軌道下(約90m)の工事を行い平成30年度末完成	目標値	(単位:千円)	1,168,728.00	1,498,574.00	1,587,082.00
			実績値	(単位:千円)	1,168,728.00	1,498,574.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 平成24年度～平成30年度の7か年で工事を完成させる。年度協定金額の出来高比で評価する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.17	1.32	
			一般財源(単位:千円)		0.03	0.44	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	・JR東海道線軌道下(約90m)の工事の進行を管理する。			目標	平成30年度末までに事業を完成させる。	
	②	成果内容	・JR軌道下(約90m)の工事進行管理を行った。			達成状況	JR東海道線軌道下の平成27年度末での出来高は41.5%(37億円/89億円)
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	南吹田地域での、おおさか東線新駅開業事業と連携を図り、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業の平成30年度末の完成を目標に、計画的に事業を継続する。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01034				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01034
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田駅地域では、都市計画道路十三高槻線の阪急千里線との立体交差も完成した。また、大阪外環状鉄道(おおさか東線)の事業が進捗しており、新駅の開業に向けて、アクセス道路の整備、南吹田地域の道路交通の円滑化のため、本線の整備の必要性が高まっている。また、市民の関心も高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法、住宅市街地総合整備事業制度要綱						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 50			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	都市計画道路千里山佐井寺線 松が丘工区 延長405m 幅員12m					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	平成28年度末完成を目標に、千里山・佐井寺地域の骨格となる都市計画道路を整備し、円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成を図る。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	千里山駅周辺への円滑なアクセス動線の確保 地域間の道路ネットワークの充実					
(7)	事業概要	国の社会資本総合整備計画「吹田市千里山地区において都市再生機構の建替えと都市基盤施設を総合的・一体的に整備」に基づく、千里山地区住宅市街地総合整備事業における関連公共施設整備として、都市計画道路千里山佐井寺線松が丘工区を千里山駅周辺地域へのアクセス道路として整備する。 都市計画道路千里山佐井寺線 延長405m 幅員12m						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 8	項 5	目 15	大事業 1	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		342,796	337,079	197,049	129,503	523,684
		人件費	職員数	人	3.80	3.50	3.50	3.00
			総額(B)	千円	31,540	27,815	29,232	24,510
		総事業費(A+B)		374,336	364,894	226,281	158,735	548,194
		特定財源(C)		89,500	89,495	25,350	22,598	43,842
		(内訳)	国	89,500	89,495	25,200	22,598	43,725
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	150	0	117
		市負担(D)		284,836	275,399	200,931	136,137	504,352
		(内訳)	地方債	80,500	80,500	22,600	0	32,100
			その他	170,000	161,134	140,000	0	440,000
一般財源	34,336		33,765	38,331	136,137	32,252		
財源計(C+D)		374,336	364,894	226,281	158,735	548,194		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得するとともに、隅切用地を一般会計で取得する	目標値	(単位:㎡)	1,064.86	13.42	352.02	
			実績値	(単位:㎡)	1,064.86	13.42		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	地権者への補償費支払済の用地面積+隅切用地面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		344.91	11,828.24	
				一般財源(単位:千円)		35.01	10,144.34	
	②	指標内容 【平成27年度まで】道路造成工事完成 【平成28年度】電線共同溝及び街路築造工並びに舗装及び植栽工事完成	目標値	(単位:%)	42.60	57.40	100.00	
			実績値	(単位:%)	42.60	57.40		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	【平成26年度・平成27年度】道路造成工事の各年度予算額÷2か年予算額 【平成28年度】100%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,621.62	2,765.42	
				一般財源(単位:千円)		875.26	2,371.72	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	平成27年度については隅切用地を全て取得 平成26年度から着手している道路造成工事については平成27年度に完成			達成状況	用地取得及び道路造成工事については目標どおり達成しております。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		都市整備部所管の千里山駅周辺整備事業と連携を図り、平成28年度末完成を目標に、計画的に事業を継続する					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01035				

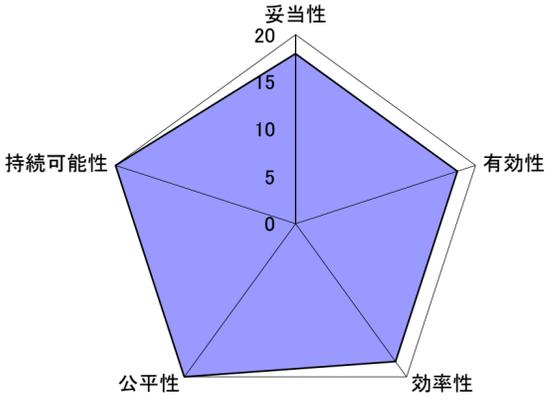
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01035
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里山駅周辺整備事業として、都市再生機構による千里山団地の建替えに合せた都市基盤施設が概ね完成しており、千里山駅周辺地域への円滑なアクセス動線確保のため、本路線の早期完成の必要性が高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

社会資本総合整備計画名「吹田市千里山地区において都市再生機構の建替えと都市基盤施設を総合的・一体的に整備」として、毎年、社会資本整備総合交付金を充当し、事業を進めていますが、社会資本整備計画の事業期間としては平成28年度が最終年度となっている。

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、バリアフリー新法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	都市計画道路岸部中千里丘線L=550m W=18.5m											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	都市計画道路岸部中千里丘線の整備を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田操車場跡地へのアクセス利便性の向上。安全で快適な都市活動と都市生活の確保。都市計画道路ネットワークの充実												
(7) 事業概要	吹田操車場跡地まちづくりにおいて、新たなアクセス道路として位置づけられ、本路線が整備されることにより、操車場跡地から新たな都市拠点への土地利用転換が促進され、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出を基本とし、周辺地域にも寄与する魅力的で個性ある近未来のまちづくり実現に貢献する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	16	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		113,190	84,513	670,025	200,440	1,253,131							
	人件費	職員数	人	3.50	3.50	3.20	3.20	4.00						
		総額(B)	千円	29,050	27,815	26,727	26,727	32,680						
	総事業費(A+B)		142,240	112,328	696,752	227,167	1,285,811							
	特定財源(C)		0	0	146,190	24,365	66,607							
	(内訳)	国	0	0	146,190	24,365	54,364							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	12,243							
	市負担(D)		142,240	112,328	550,562	202,802	1,219,204							
	(内訳)	地方債	0	0	107,600	17,900	40,000							
その他		110,000	82,647	410,000	0	1,140,000								
一般財源		32,240	29,681	32,962	184,902	39,204								
財源計(C+D)		142,240	112,328	696,752	227,167	1,285,811								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得する。	目標値	(単位:m ²)	0.00	375.00	2,735.00
			実績値	(単位:m ²)	0.00	375.00	
		達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	地権者への補償金支払済みの用地面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	605.78	493.07
				一般財源(単位:千円)	0.00	493.07	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容	目標	平成29年度末までに事業を完成させる。				
		達成状況	平成29年度末までに関係機関との協議を終えて事業を完成させる。				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田操車場跡地のまちづくり関連事業との連携を図り、都市計画道路岸部中千里丘線の早期完成を目標に、計画的な事業実施を継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01036				

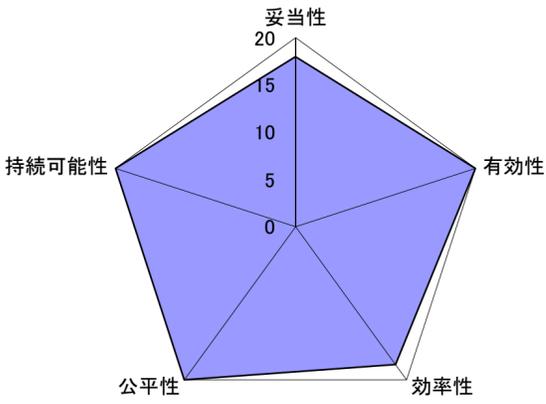
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01036
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田操車場跡地のまちづくりは、主要な施策に位置付けられており、そのアクセス道路として機能する都市計画道路岸部中千里丘線も重要な位置付けとなため、重点的に進める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の要望に対する社会資本整備総合交付金の内定が要望額に対して一割しか国費がつかなかった。今後、財源確保対策が必要であると思われる。

事務事業評価調書

事務事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市特別会計条例(及び 公有地の拡大の推進に関する法律)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	土地開発基金借入金の元金											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得していることから、一般会計で再取得する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。												
(7) 事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を、後年度に一般会計で再取得する際に償還するものである。なお、元金償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に国庫補助金を受けることが可能となる。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	14	款	2	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		271,462	254,461	475,857	117,111	616,572							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		271,462	254,461	475,857	117,111	616,572							
	特定財源(C)		271,462	254,461	475,857	117,111	616,572							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		271,462	254,461	475,857	117,111	616,572						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		271,462	254,461	475,857	117,111	616,572								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計で土地を再取得し、元金を償還する。	目標値	(単位:m ²)	1,121.64	2,626.48	3,245.99	
			実績値	(単位:m ²)	1,064.86	748.24		
			達成度(%)		94.9	28.5		
	目標値の積算方法	一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		238.96	156.52	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	元金の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。			達成状況	適切な時期に、一般会計で土地を再取得することにより、適正な事業実施ができています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に一般会計で再取得するにあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じて再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。このため、財源確保を目的とした本事業は、継続していく必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01039				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01039
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借り入れた基金等の元金を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している各道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・利子)				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市特別会計条例(及び 公有地の拡大の推進に関する法律)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	土地開発基金借入金の利子											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	土地開発基金借入に伴う利子を支出することとなるが、公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)において、土地開発基金借入金の元金を償還する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。												
(7) 事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を償還する際にあわせて、借入に伴い生じた利子を償還するものである。なお、利子償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に、国庫補助金を受けることが可能となる。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	14	款	2	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,655	299	4,785	79	3,720							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		2,655	299	4,785	79	3,720							
	特定財源(C)		2,655	299	4,785	0	3,720							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		2,655	299	4,785	0	3,720						
	市負担(D)		0	0	0	79	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	79	0								
財源計(C+D)		2,655	299	4,785	79	3,720								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計で土地を再取得する際に、利息を償還する。	目標値	(単位:m ²)	1,121.64	2,626.84	3,245.99
			実績値	(単位:m ²)	1,064.86	748.24	
		達成度(%)		94.9	28.5		
	目標値の積算方法	一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.28	0.11	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.11	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
		②	成果内容	利息の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明	公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に再取得することから、土地開発金借入に伴う利息を支出することとなるが、再取得にあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じた再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。 このため、効率的に国庫補助金を受けるために必要な本事業は継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・利子)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01040				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01040
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借入れた基金等の元金を償還する際に、借入に伴う利子を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借り入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している各道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	岸部中千里丘線用地取得事業(公共用地先行取得特別会計)				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、公有地の拡大の推進に関する法律、吹田市土地開発基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業において、買収が必要な事業用地。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業において、事業(工事)着手時までに必要な事業用地の先行取得を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	特別会計で先行取得を行い、後年度買い戻す際、一般会計で予算化した時に国の交付金等を受け財源確保することが可能となる。												
(7) 事業概要	都市計画道路岸部中千里丘線を平成29年度末までに整備するため、買収が必要な事業用地を事業(工事)着手時まで先行取得するものです。 都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業 L=550m、W=18.5m													
(8) H27事業別 予算コード	会計	14	款	1	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,799,000	464,128	669,925	185,585	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		1,799,000	464,128	669,925	185,585	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,799,000	464,128	669,925	185,585	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		1,799,000	464,128	669,925	0	0						
一般財源		0	0	0	185,585	0								
財源計(C+D)		1,799,000	464,128	669,925	185,585	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 平成27年度末までに用地取得を完了した。	目標値	(単位:m ²)	7,068.00	4,498.00	0.00
			実績値	(単位:m ²)	2,570.00	0.00	
			達成度(%)		36.4	0.0	
	目標値の積算方法 必要な事業用地 約7,068m ² 平成26年度までの先行取得用地 2,570m ² 残り4,498m ²	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	180.59	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容	岸部中千里丘線道路新設事業に伴い、地権者と交渉を行い、事業用地の先行取得を行う。			目標	平成29年度末までに用地取得を完了する。	
		②	成果内容	特別会計で先行取得を行うことによって、後年度の買戻しに際し、国の交付金等を受けて財源確保が可能となる。			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に係る国の交付金を効率的に受け、財源を確保するために、本事業は必要である。 ・岸部中千里丘線の平成29年度末完成に向けて、継続して用地確保を行う。 				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	岸部中千里丘線用地取得事業(公共用地先行取得特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	01041				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01041
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市土地開発公社の解散に伴い、平成24年度から用地取得を直営で実施することとなり、用地取得に係る国の交付金等を効率的に収受するため、この事業を立ち上げたものである。</p> <p>本事業でストックした先行取得用地を交付金の内示額に合わせて買い戻すことで、道路新設事業での効率的な財源確保ができる。また、先行取得の財源についても、起債ではなく吹田市土地開発基金からの借り入れを行い、金利負担の軽減を図る。</p> <p>しかし、国の交付金も近年、内示率が低く、また土地開発基金も底をつきかけていることから、当初のスキームの見直しの検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業の財源である国の社会資本整備総合交付金の確保が、年々難しくなっている。

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路佐井寺片山高浜線の未整備区間約1,140m				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市域の南北交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成、都市計画道路のネットワーク形成を図る。 市域の南北交通を確保するとともに、都市計画道路のネットワークの形成を推進する。					
(7) 事業概要	本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ道路であり、市域の南北交通を確保する主要な幹線道路を整備する。						
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	0
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	
財源計(C+D)		0	0	0	0	0	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	事業実施に向けた調査・検討。			目標	平成29年度からの調査・設計の着手を目指す。
	②	成果内容	整備予定区間の用地取得。			達成状況	平成27年度は予算要求していないため、達成状況に変化なし。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ主要な幹線道路であり、利用者の最短経路での走行時間の短縮、走行経費の削減、安心安全なみちづくりによる交通事故の減少が図られる。また、生活道路への通過交通の流入を防止するとともに地域間ネットワークが形成される。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01319				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	8	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01319
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	10	効率性	8	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>旧市街地と千里ニュータウンを結ぶ路線であり、市域の南北交通を確保するため本路線の整備の必要性は高く、また、市民の関心も高い。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度までは予算要求は行わず、関係機関との協議を行う。
平成29年度からの調査・設計の着手を目指す。

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路維持管理事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	都市計画道路事業用地(未事業化路線)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	都市計画道路事業用地の健全な維持管理												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	周辺生活環境の保全、事故や不法占用等の防止												
		都市計画事業認可を受ける以前に都市計画道路事業予定地として取得した用地を事業実施までの期間、適正に維持管理する。 ・用地杭設置、除草等委託業務 ・フェンス設置等維持管理工事													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		450	39	360	3,996	360							
		人件費	職員数	人	0.10	0.30	0.10	0.10	1.00						
			総額(B)	千円	830	2,385	836	804	8,170						
		総事業費(A+B)		1,280	2,424	1,196	4,800	8,530							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		450	2,423	360	3,996	8,530							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			450	2,423	360	3,996	8,530								
財源計(C+D)		450	2,423	360	3,996	8,530									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	都市計画事業認可を受ける前に取得した事業用地を、事業実施までの間、適正に維持管理を行う。			目標	事業予定地を適正に維持管理することで周辺生活環境の保全や事故及び不法占用等の予防を図る。
	②	成果内容	都市計画道路事業予定地の維持管理			達成状況	苦情等もなく、維持管理できている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		都市計画道路事業としての事業用地であることから、事業実施までの期間、今後も引き続き適正な維持管理を行う必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路維持管理事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01485				

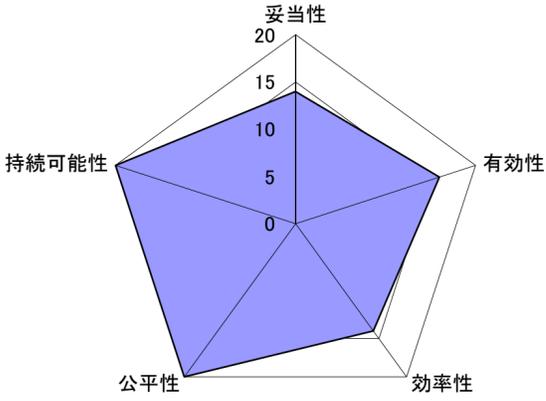
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01485
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画道路事業は市街地で行われるため、市街化の更なる発展や土地の細分化等により用地取得が困難化し、事業期間の長期化や事業費の増大を招くことがあります。したがって、事業用地の先行取得は事業実施を円滑に進めるために有効な手段です。</p> <p>最近の厳しい財政状況の中では、事業実施時期が未定の路線については積極的な用地先行取得は行っていないものの、開発に伴う帰属や寄付等の理由により、事業用地を取得する場合もあり、これらの事業用地を事業実施までの期間、適正に維持管理を行う必要があります。</p> <p>また、当面事業実施予定のない箇所については、運動広場や貸農園等として土地の有効利用を図るとともに、維持管理のコスト縮減を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度は、都市計画道路千里丘朝日が丘線の未整備区間のうち、JR千里丘駅への交通量の増加に伴い非常に危険な状態となっている、起点の摂津市区域を含む一部について、現状の調査等を行い、事業化の検討基礎資料作成を実施しました。